

※価格は商品1点の総額(本体価格+消費税)

◆根白石おもしろ市(軽トラ市)

12月までの第3土曜10:00~15:00



仙台市泉区西部の活性化を目的に、今年5月に始まった軽トラ市。根白石商店会や地元生産者、飲食店が、軽トラックの

会場周辺には泉ヶ岳をはじめ豊かな自然がいっぱい。ドライブがてら立ち寄るのもお勧めだ。

荷台に野菜や果物、手作りの菓子、総菜、花などを並べて販売する。根白石地区特産の手作り「ふきのとう味噌(みそ)」が人気だ。工芸品や手作り品もあるので、出店者との会話を楽しみながらゆったりと買い物を楽しもう。

会場/元JA仙台根白石農協広場(仙台市泉区根白石堂ノ沢5) 問/泉かむりの里観光協会事務局 TEL090-4634-1525

◆新風展

8月26日(土)~9月3日(日)10:00~18:00

加美町在住の染織家、笠原博司さんが主宰する工芸品のセレクト店が夏恒例のイベントを開く。東北を中心に、若手工芸家らの手仕事の魅力を紹介する展示販売会。毎年、県内外から多くの工芸ファンが訪れる人気企画だ。7回目となる今回はガラスや金工、七宝、陶器、木工、染織などの分野から東北を中心に約10人が参加。日によって工芸家



も在廊し、来場者と交流する。会期中無休、入場無料。詳細はHPで確認を。

会場/工藝藍學舎(加美町字西町78) TEL0229-63-4739

◆夏まつり仙台すずめ踊り

7月22日(土)・23日(日)10:00~20:00



JR仙台駅東口の宮城野通を舞台に、杜の都仙台に伝わる「すずめ踊り」が華やかに行われる。約

200以上の区間で実施する「大流し」は祭連(まづら)が次々と登場し、息の合った踊りを披露。「路上演舞」は祭連ごとに趣向を凝らした演舞に注目を。

祭りのフィナーレは「総踊り」。沿道の観客も巻き込み、皆で楽しく踊る。熱気と一体感に包まれたまま、祭りは幕を閉じる。飲食の出店もあり、にぎわいを見せる。

会場/宮城野通(仙台市宮城野区榴岡) 問/実行委員会 TEL022-267-1040

「清順美学」の終焉

今年2月、日本映画界の巨匠、鈴木清順監督が亡くなりました。満93歳でした。松竹の助監督を経て日活に移籍。33歳の時「港の乾杯 勝利をわが手に」で初監督を務めました。赤木圭一郎のデビュー作をはじめ、小林旭、渡哲也、高橋英樹らの主演作を次々に監督。モダンで新鮮な色彩感覚と映像による独自の世界観は「清順美学」と称され、一部に熱狂的なファンを獲得。日本映画界の歴史に大きな足跡を残しました。

今回紹介するのは、代表作「浪漫三部作」。連続で見れば、鈴木清順の独特の美学が誰にもまねのできない世界であることに十分に感じられると思います。共通するのはミ

「清順美学」のふすま絵。 奇妙な物語。現実とも、



●鈴木清順監督 浪漫三部作」BOX 発売元/ポニーキャニオン リトルモア 販売元/ポニーキャニオン DVD-BOX/1万1400円(税抜き) Blu-ray BOX/1万2800円(税抜き) 『ツイゴイネルワイゼン』©1980 提供:リトルモア 『陽炎座』©1981 提供:リトルモア 『夢二』©1991 提供:リトルモア



丹野 六右衛門 塩釜市在住、71歳。映画サークル「遊々シアターフレンズ」代表

幻想とも区別つかない独特の世界をつくっていきます。難解ですが魅力があります。特に盲目の3人の門付けの不気味さは、独特です。

陽炎座

(1981年)

劇作家・松崎春狐は落とした手紙が縁で出会った品子(大楠道代)に金沢に誘われます。金沢へ向かう列車の中で、品子のパトロンの玉脇(中村嘉律雄)に出会います。品子や、下宿先のおお(加賀まり子)の愛と憎しみと幻想の渦にほんろうされる松崎。松田優作が弱い男の魅力を見事に演じ、新境地を開きました。

夢二

(1991年)

名曲「宵待草」の作詞者として名をはせた竹下夢二。画家としても有能で、独特の世界を築き上げましたが、数多くの女たちとの愛憎劇の逸話に事欠きませんでした。芸術家として苦悩しながら、軽々とひょうひょうと女たちのはざまを浮遊する夢二を、沢田研二が男の色香を漂わせながら見事に演じています。

駆け落ちを約束した恋人・彦乃(宮崎萬純)。逢瀬を重ねる人妻・田代(穂谷友子)。奔放なモデル・お葉(広田玲央名)。真つ赤に燃える紅葉の金沢で、女たちが極彩色の色模様を描き出します。まさに、「清順美学」のふすま絵。

土官学校教授の青地(藤田敏八)と、彼の元同僚・中砂(原田芳雄)は「ツイゴイネルワイゼン」のレコードを聴いていて、かすかで奇妙な声を一瞬間ききます。そこから始まる、